

新規ご利用者紹介

令和4年4月より新しい仲間が2名加わり、友愛デイサービスセンターのご利用者は、総勢19名（定員20名）となりました。

3月に東京都立光明学園をご卒業され、緊張・期待・不安など様々な思いを抱きながら、新たな一歩を踏み出したばかりの和泉様・高様。入所してから1ヶ月程度は、表情が硬く緊張している様子が伺えましたが、現在は通所生活にも慣れ、通所中は多くの笑顔が見られるようになりました。

楽しく元気に友愛デイサービスセンターと一緒に盛り上げていきましょう。よろしくお願いいたします。

はじめまして。和泉 朋花(いずみ ほのか)です。
この春に光明学園を卒業して、友愛デイサービスセンターに通い始めました。

好きなことは音楽を聴くこと、ディズニーアニメのDVDを観ることです。特にアラジンとモンスターズインクが好きです。好きな食べ物はあんことバナナと納豆です。

友愛では職員さんと歩行をがんばっています。慣れて楽しく通えると嬉しいです。よろしくお願いいたします。



和泉 朋花 様

はじめまして。高 謙次郎(たか けんじろう)です。

3月に光明学園高等部を卒業して、4月から通所が始まり、お世話になっています。

3歳の時、原因不明の高熱から急性脳症を発症し、一時は死を覚悟しましたが、驚きの生命力で乗り越えました。寝たきりの全介助(医療的ケアあり)という状況ですが、聴力は◎、視力ぼんやり、触ってもらうことが大好きです。

見かけたときは声掛けしてもらえると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



高 謙次郎 様





主任生活支援員
太田 貴久

今年度の事業計画は、ご家族・主治医・嘱託医と連携した健康管理、新型コロナウイルス感染症の流行により中止としていた活動の再開検討、各種社会資源と連携した包括的な支援の推進などが中心となっています。

また、近年ご利用者の重度化や介護者の高齢化、さらには医療的ケアニーズの高まりも顕著であることから、より質の高い介助技術や知識が職員に求められるようになりました。それらを踏まえ、全職員の技術や知識向上を目的とした人材育成に力を入れ、施設全体の質の向上を目指します。

生活介護事業

介護支援

- ① 新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、施設内行事の拡充や外出活動の再開を検討します。
- ② 世田谷区の技術支援により招聘した理学療法士・言語聴覚士と連携し、ご利用者の様態に則した質の高い訓練活動を提供します。
- ③ 祝日等により、入浴サービスが利用できなくなった場合の代替え入浴日を設定します。



個別支援計画

- ① ご家族や施設内外の専門職と連携し、ご利用者の強みや潜在的なニーズを適切に抽出するとともに、ご利用者が自己決定を重ねながら能力や選択肢を拡大していけるよう、効果的な個別支援計画を策定します。
- ② 適切な社会資源の紹介と活用を促し、充実した在宅生活と豊かな地域生活が維持できるよう支援します。
- ③ 相談支援事業所との連携を継続し、ご利用者を取り巻く各種社会資源による包括的な支援を推進します。

個別支援計画書

健康管理

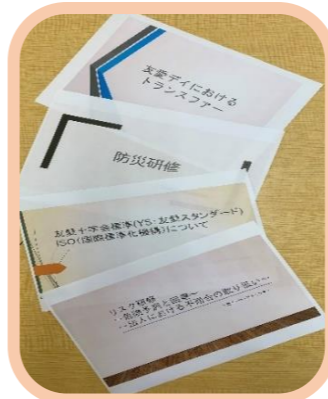
- ① 医療的ケアの必要なご利用者の送迎バスへの看護師添乗を継続します。
- ② 喀痰吸引等認定従事者として生活支援員等を追加登録します。
- ③ ご家族や主治医との連携を一層強化するため、主治医の在宅訪問診療時や通院時に看護師が同席することを検討します。
- ④ 東京都が実施する抗原定性検査（東京都集中検査）の受検を継続し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組みます。



人材育成



施設内研修風景



- ① 喀痰吸引等認定従事者としてすでに登録している生活支援員の再指導を実施し、質の高いケアを維持します。
- ② 健康管理、医療的ケアに関する知識を深めるため、看護師による内部研修を実施します。
- ③ 外部研修の積極的な受講と、各職員を講師とする内部研修を実施し、職員自身の力量や組織全体のサービス向上を目指します。
- ④ 法人主催の研究事例発表会へ参加し、職員のプレゼンテーション能力の向上を目指すとともに、法人の更なる発展に貢献します。
- ⑤ 国家公務員の介護体験、大学生の社会福祉実習、インターンシップなど様々な分野から実習生を受入れ、地域交流と福祉人材の育成に貢献します。併せて実習担当職員の指導力を育成します。

短期入所事業

- ① 年2回の家族懇談会を開催します。
- ② 介護スタッフの教育やサービス強化について、積極的に取り組みます。
- ③ ご家族の高齢化や長期化する新型コロナウイルス感染症の流行により増加している緊急利用の積極的な受け入れを推進し、社会的責任を果たします。



☀️ 友愛デイの一日 ☀️



昼食紹介

友愛デイサービスセンターでは、常食・常食一口大・ソフト食※・ミキサー食・刻み食・ペースト食の6種類と、白米・お粥・ゲル粥の3種類の主食を提供しています。

提供する食形態は、ご家族のご意見の他、嘱託医や看護師の見解、世田谷区の技術支援事業の一環として来所する言語聴覚士の評価などを基に、ご利用者の口腔機能に合った最善の食形態を提供しています。また、医療的ケア（主に胃瘻注入）も実施しています。

当センターで提供する食事は、障害者施設担当の栄養士による栄養管理のもと、調理業務を委託して19年目の日清医療食品株式会社の経験豊富な調理スタッフが、毎日心を込めて作っています。通常メニューの他にも、季節感あふれる見た目も楽しい行事食なども提供しています。

※ソフト食に対応していないメニューは、「刻み食」または「ペースト食」での提供となります。

○常食・一口大



ご利用者が食べやすく咽込みなどを減らせるよう、酸味や辛味を抑えて調理をしています。カレーも甘口で好評です。



○ソフト食



食材ごとにミキサーにかけて固め直したメニューです。舌でつぶせる柔らかさで、主に咀嚼・嚥下が苦手な方へ提供しています。



○ミキサー食



主に、胃瘻の方へ提供しています。サラサラとした液体状で、接続チューブが詰まることなく、スムーズに注入することが可能です。



○行事食



主に、季節行事（七夕会・お楽しみ会・クリスマス会）の際に提供しています。また、月に一度、季節の献立を提供しています。



活動紹介

日中は、それぞれの個別支援計画に沿った活動を中心に、クラブ活動や余暇時間を満喫しています。



歩行訓練



腹臥位



端座位・ストレッチ

楽しみを見つけながら
頑張っています!!

光・音・香りなど、様々な感覚刺激を感じられる時間で、クラシックなどのBGMが流れる照明を落とした部屋で、光の動きや芳香剤の香りを楽しんだり、リラックスしたり、みなさん思い思いの時間を過ごしています。

今年は初めての品種の春野菜に挑戦しています!
(園芸部代表)

部員募集中です!
(カレンダー部代表)



スヌーズレン



園芸部



カレンダー部

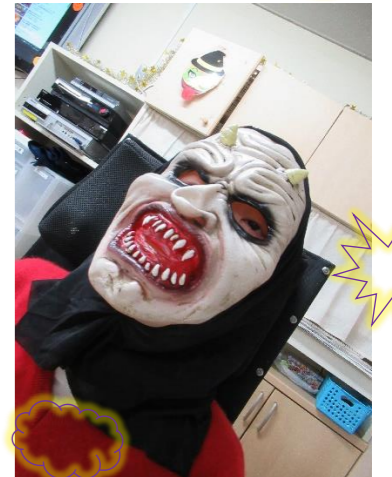
行事活動

七夕
飾り作りから飾り付けまで願いを込めながら行いました。コロナが早く収束しますように。



ハロウィン

ご持参の衣装や友愛デイのグッズを身に着け、雰囲気も気分も盛り上がります。今年こそは、他の施設のみなさんと触れ合いたいですね。



お楽しみ会

クリスマスソングを聴いたり、ビンゴゲームを楽しんだり・・・
今年の景品は何か。乞うご期待。




スタッフ紹介

スタッフに!! いろいろ質問してみました!!

- ①生まれ / 育ち
- ②前職
- ③将来の夢 (子どものころ)
- ④将来の夢 (今)
- ⑤座右の銘
- ⑥友愛デイのいいところ
- ⑦仕事目標


木村浩二 (センター長)

- ①茨城/茨城
- ②高齢者施設職員
- ③青年海外協力隊員になる
- ④健康である限り福祉業界で働く
- ⑤実力は努力の賜なり
- ⑥ご利用者も職員も大切にしているところ
- ⑦施設は狭いが支援は一流をモットーに、常に質の高いサービスを提供する




斧由紀子 (看護師)

- ①北海道 (どさんこ)
- ②病院・療育センター等
- ③特別支援学校の教師
- ④仲間とカフェ経営
- ⑤知らざるを知らずとなすこれ知るなり
- ⑥職員皆がご利用者を大切に想っているところ
- ⑦友愛デイの取り組みを地域に発信すること




西本愛 (看護師)

- ①東京 (世田谷) / 東京 (世田谷)
- ②病院 (産婦人科)
- ③保育士
- ④看護師を続ける
- ⑤情けは人の為ならず
- ⑥明るく元気なところ
- ⑦笑顔を忘れず周囲に目を向け、ご利用者・職員へお配慮ができるようになる




菅貴慶 (生活支援員)

- ①神奈川 (伊勢原)
- ②障害者入所施設
- ③仮面ライダー
- ④渋い男
- ⑤弘法筆を選ばず
- ⑥魅力的なご利用者・職員に囲まれている
- ⑦いずれは役職者になりたい




岸井豊子 (食事介助ボランティア)

- ①大阪/大阪と奈良
- ②ヴァイオリン・ヴィオラ奏者
- ③音楽の先生
- ④家内安全と世界平和
- ⑤みんなちがってみんないい
- ⑥明るい雰囲気でご利用者に誠実
- ⑦ご利用者に誠実であり続けたい




武者愛里 (生活支援員)

- ①埼玉/埼玉
- ②営業事務など
- ③お花屋さん
- ④お金持ち
- ⑤どうにかなる
- ⑥職員・ご利用者、皆さんが優しいところ
- ⑦どんな時でも笑顔を忘れない




太田貴久 (主任生活支援員)

- ①東京 (国分寺) / 東京 (品川・国分寺)
- ②保育園調理・福祉施設・広告営業
- ③パイロット
- ④都心を離れて半自給自足生活
- ⑤なんとかなるしどうにかなる
- ⑥ご利用者にもご家族にも職員にも優しい施設
- ⑦何事にもチャレンジし、学び続ける



持永修 (生活支援員)

- ①長崎/長崎・福岡
- ②ひみつ
- ③プロ野球選手
- ④楽しく老後
- ⑤初心忘るべからず
- ⑥明るく元気がありそうに見える
- ⑦できるだけ長く働く




関美沙子 (看護師)

- ①茨城/茨城
- ②介護付き有料老人ホーム
- ③警察官
- ④健康に穏やかに過ごす
- ⑤初心忘るべからず
- ⑥明るい雰囲気でご利用者に寄り添っている
- ⑦どんな形でも看護師を続けたい




荒井広祐 (副主任サービス管理責任者)

- ①東京/東京
- ②地域包括支援センター
- ③プロ野球選手
- ④これから考えます!!
- ⑤自らを律し、人の為にあり続けること
- ⑥全職員がご利用者を愛しているところ
- ⑦研鑽を積み重ね、福祉の増進に貢献していく




青木美早起 (生活支援員)

- ①東京 (大田) / 東京 (大田)
- ②GH 世話人・ガイドヘルパー
- ③美容師
- ④縁側でゆったりお茶を飲んで過ごす
- ⑤笑う門には福来る
- ⑥皆が明るく元気なところ
- ⑦1日1日を大切に努力する。




富山明季 (生活支援員)

- ①東京 (中野) / 東京 (中野)
- ②サービス業
- ③パティシエ・保育士
- ④海が見える家に住む
- ⑤笑う門には福来る
- ⑥毎日新しい発見や成長があり、笑顔があふれている
- ⑦ご利用者ごとに合わせたケアをおこなえるよう、観察力・判断力を身に着ける




菅沼範子 (看護師)

- ①神奈川 (平塚) / 神奈川 (平塚)
- ②病院・福祉施設・老人ホーム
- ③保健の先生・バレー選手
- ④小さくても手作りの施設ができた
- ⑤冬は必ず春となる
- ⑥職員全員がご利用者のことが大好きなところ
- ⑦友愛デイでいろいろ教えていただき、長く勤めたい




渋谷峰子 (経理)

- ①東京/東京
- ②外資系経理
- ③お花屋さん
- ④健康で穏やかな毎日
- ⑤定まず止まらず
- ⑥ご利用者も職員もみんな優しい
- ⑦定年後は友愛デイでボランティア




市村梓 (生活支援員)

- ①東京 (府中) / 東京 (府中)
- ②生活介護職員・児発支援・放デイの児童指導員
- ③保育士
- ④家を買う!!
- ⑤不撓不屈
- ⑥ご利用者一人一人と濃い関りができる
- ⑦経験を積み、社福実習生の受け入れ担当をしたい




萬田浩史 (生活支援員)

- ①東京/東京
- ②一般企業
- ③学校の先生
- ④健康であること
- ⑤あなたがいるから私がいる「You & I」
- ⑥ご利用者から元気を貰える
- ⑦現役で働くことも残りわずかですが、友愛デイに何か残せたらと思う



山川敏江 (昼食ボランティア)

- ①新潟
- ②青果業
- ③美容師
- ④いつも元気に、健康第一
- ⑤明日は明日の風が吹く
- ⑥職員とご利用者が日々心を通わせているところ
- ⑦ご利用者に安心して食事していただけるよう介助していきたい



友愛デイサービスセンター 設立 30 周年 第 1 期ご利用者 北原様へ Q&A

主任生活支援員
太田 貴久

平成 2 年 12 月 28 日、地域における身体障害者の日常生活を支援することによって、身体障害者の自立と社会参加を促進することを目的とし、①身体障害者ホームヘルプサービス事業②身体障害者デイサービス事業③身体障害者短期入所事業の 3 事業に関する「社更第 255 号厚生省社会局長通知」が示されました。

友愛十字会は、平成 4 年 4 月 1 日からこれら 3 事業のうち、デイサービス事業と短期入所事業を「友愛デイサービスセンター 生活介護事業/短期入所事業」（以下、当センター）として実施しました。

時は流れ令和 4 年 4 月 1 日、当センターは設立 30 周年を迎え、現在は登録ご利用者 19 名（定員 20 名）、職員 15 名で運営しています。設立当初は、定員 15 名に対し 5 月から 3 名、8 月からさらに 4 名を受け入れ、初年度は 7 名のご利用者として 10 名の職員で事業開始となりました。

初年度は初代センター長である小島修治センター長をはじめ、全職員が新規採用者という状況の中で、備品や環境の整備、実施要綱に基づくご利用者の受け入れ体制づくり、さらには重度身体障害者支援に関する職員研修など、様々なことを同時に進めながらの開所であったことが、当時の記録に記されています。



北原 靖子さん

本記事を執筆したことで、当センターの土台を築き上げた諸先輩方の功績は偉大であることを再認識するとともに、しっかり受け継いでいかなければならない責任を感じました。

当センターには、開所年の 5 月に第 1 期入所者として利用を開始した 3 名のうちのお一人である、北原靖子さんが現在も元気に通所されています。今回、30 年という長い月日を当センターと一緒に歩んで来られた、北原靖子さんのお母様である北原孝子さんにインタビューをさせていただきました。

とても気さくなお母様で、本当にたくさんお話を伺うことができました。スペースの都合上、全てを掲載することができず残念ではありますが、当時の様子や靖子さんが皆に愛され過ごしてきた年月を感じることができました。



🗣️ 北原孝子様へのインタビュー

Q	30 年を振り返り、想うことを教えてください。
A	<p>30 年・・・30 年通った記憶はうっすら。年取って身体の不自由さを感じます。(笑)</p> <p>友愛デイサービスセンター（以下：友愛デイ）に通うようになって、毎朝バスの乗降場所へ行きますが、近所の方、近くの電気屋さんやクリーニング屋さん、隣の小学校の校長先生や通りかかった警察官、本当にたくさんの方に声を掛けられるようになり、毎朝お見送りしてくれる方もいるんです。人情あふれる下町みたいで、靖子も声をかけられると笑顔になって、本当に幸せだと思います。これも友愛デイに通うようになったことが始まりで、靖子は人を引き寄せる何かがあるのかなと思っています。</p> <p>先日、朝の通所バスが事故渋滞で遅れた時、たまたま携帯電話を持たずに乗降場所まで行ってしまっ、その時も近所の方が「もう 9 時過ぎているけど大丈夫」と声をかけてくれました。いろんな方、周りに助けられた 30 年間だと思っています。</p>



Q	30 年前、当センターの利用を決めた理由を教えてください。
A	<p>養護学校を卒業して世田谷区内の施設に通っていましたが、その施設長に「靖子さんは歩くことができるし、もっと本人に合った施設へ移った方がいいですよ」と勧められました。そのタイミングで平賀伸二郎さん（北原さんと古くからの友人であり、共に友愛デイ最初のご利用者）のお母さんから「新しくできる施設があるから一緒に見てみない」と声をかけられたことがきっかけとなり、友愛デイへ施設見学に行くこととなりました。</p> <p>利用を決めたのは、当時センター長をしていた小島さんの存在が一番大きかったです。小島さんは、靖子がまだ未就学児の時に通っていた施設で施設長をしていて、靖子が 2 歳の時から知っていました。当時の靖子は小島さんの顔を見ると、ご飯を食べなくなるくらい小島さんのことが好きではなかったけど（笑）いつの間にか、小島さんのことが大好きになっていました。</p> <p>平賀さんに誘われて友愛デイへ見学に行くと、小島さんがセンター長をされていて「これは安心だ」と思ったことを今でも覚えています。</p>



孝子さん（上）靖子さん（中）
小島さん（右下）



平賀 伸二郎さん

Q	30 年間で、一番印象に残っていることはなんですか。
A	<p>一番は 27 年前、私（母）が体調を崩して入院した時、緊急で短期入所に 1 ヶ月間入れてくれたことかな。とても助けてもらいました。その当時の寮母さんはよく面倒を見てくれて。ただ、1 ヶ月後に退院することができたけど、体調を崩す前の生活に戻るにはさらにもう 1 ヶ月程度時間がかかると医師から言われたので、引き続き短期入所の利用が必要となりました。急だったため別の施設の短期入所へ移り、さらに 1 ヶ月利用することになったけど、戻ってきたら呑気症になっていて、3 ヶ月通院しながら治しました。その出来事がとても印象に残っています。あとは・・・職員さんの結婚式を友愛デイでやったこともありました。(笑) 宿泊でディズニーランドのホテルに泊まったことや江の島に行ったこともよく覚えています。コロナが流行ってから外出は難しくなりましたね。</p>

Q	通所初日のことは覚えていますか。
A	写真も撮らなかったように思うし、どうだったか・・・あまり覚えていません。(笑)

Q	同期のご利用者のご家族とは、今でも連絡を取っていますか。
A	初年度は、伸ちゃん（平賀さん）と A さんと靖子の 3 人でした。伸ちゃんのお母さんとは今でも連絡を取り合って、自宅にも時々行っています。昔は一緒に味噌作りをしたこともありました。

Q	今後、当センターに入所してくる未来の仲間に一言お願いします。
A	友愛デイには熟練した職員がいて、看護師もすごく丁寧にみてる。本当に安心して通所できる環境だと思っています。安心して利用できる施設ですよ。

北原さん、たくさんの貴重な話をお聞かせいただき、ありがとうございました。

防衛費 5 兆円暮らしに使える・・・良識の府参議院選挙に思う



センター長 木村 浩二

新型コロナウイルス感染症は、未だに収束の兆しが見えず、自助努力では暮らしが守れない状況にまで格差と貧困を拡大させています。加えて、ウクライナ情勢や急激な円安による物価の高騰が人々の生活を一層脅かし、感染症対策とともに生活支援、雇用環境の改善、景気回復など暮らしの安定化に向けた対策は、焦眉の急を要しています。

第7波の感染拡大が顕著となる中で、当センターとしましても三密対策や体温測定、手洗いや消毒の励行などウィズコロナの生活様式を継続しながら、抗原定性検査の適宜の実施や衛生管理を徹底し、感染予防に努めてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

さて、7月の参議院選挙を前に、様々な調査主体によって有権者の意識調査が実施されました。私の購読紙も都内の有権者を対象に、投票先を決める最も重視する観点について調査しており、それによると「物価高・景気」と答えた人が26.0%と最も多く、次いで「安全保障」が17.2%、以下「年金・福祉」15.4%、「憲法」11.8%、「原発・再生可能エネルギー」7.0%、「多様性」4.4%、「子育て・教育」4.1%と続いていました。

今の世の中を見れば、どれも重要な観点ばかりです。厳しさを増す国民の暮らしぶりを反映して「物価高・景気」に関心が寄せられるのは当然であり、中国の海洋進出、北朝鮮の軍備拡張、そして国連憲章に違反するロシアのウクライナ侵攻などを思慮すれば、「安全保障」への関心が高まるのももっともです。しかしながら、コロナ禍や急激な円安などにより社会全体が疲弊している中で、「安全保障」に関する意識が、国民の生活を支える「年金・福祉」「子育て・教育」を上回ったことは、とても意外でした。

もちろん安全保障に関する意識には、単に国防だけではなく、荷重な基地負担を強いられている沖縄県民の苦しみ、集団的自衛権、日米地位協定や日米安保条約への思い、さらには経済や外交にも及ぶ広い角度からの視点が含まれていると思います。とは言え、安全保障への関心の高さが、緊張した国際情勢に乗じた軍事力の強化や9条改憲に向けた動きを推進するものであるならば、平和国家の根幹が揺らぐのではと不安を感じずにはられません。

私事を挟んで恐縮ですが、私は子供のころから両親の悲惨な戦争体験を聞かされてきました。食糧難によるひもじさはもちろんのこと、父は、幼年兵として訓練を受け、いずれは国のために戦うことを教育されたこと。母は、軍需産業が盛んな街で暮らしていたため、激しい空襲や艦砲射撃（戦艦からの砲撃）に晒され、恐怖に慄いていたこと。近くの鉱山では、日本に強制連行されたと思われる、たくさんの朝鮮半島出身の人たちが働いていたことなど、常に死と隣り合わせだった両親の過酷な少年少女時代や悲しい歴史、そして、何より二人の反戦への思いを聞かされていた身としては、ことさら「平和」と「暮らし」を最優先に考える国政こそ、最も大切であると思っています。

政府は、経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）を閣議決定し、防衛力を5年以内に強化する方針を明らかにしました。自民党の提言では、防衛費を国内総生産（GDP）比で現在の1%程度（5兆4千億円）から2%以上に増額するとしています。GDP比2%は年間11兆円。5兆円規模の増額です。日本の防衛費は、現在、世界第9位。それが11兆円ともなればロシアの1.6倍、アメリカ、中国に次いで世界第3位の軍事費大国となるそうです。緊張の高まる国際情勢の中で、国防について議論を重ねることは重要ですが、防衛力を強化すれば他国を刺激し、軍事競争の加速につながることは自明の理。何より防衛費を増額したからと言って他国からの侵略を抑止できる保証はありません。外

交安全保障の基本は、戦争を始めないこと、始めさせないこと。戦争放棄と戦力不保持の平和憲法のもと、安全保障政策の基本として堅持されてきた専守防衛政策、外交努力や国際平和協力の推進が蔑ろにされ、軍事力を振り所とする負の循環に陥らないことを強く願っています。

それからもうひとつ、防衛費の増額が既定路線となり、5兆円の財源確保に関する議論が見えていないことも腑に落ちません。結局のところ、その手段は、増税か、社会保障費の大幅削減か、あるいは国債の発行になるのでしょうか。いずれにしても長引くコロナ禍などの影響で、多くの犠牲を強いられている国民へ、さらなる負担となって重くのしかかることは想像に難しくありません。借金大国であるわが国が、どのように財源を確保するのかしっかりと議論を重ね、国民が納得できる防衛構想を示してほしいと思います。

先日、防衛費の増額に関する大変興味深い記事を目にしました。5兆円規模の増額予算を教育や年金、医療など暮らしのために振り向ければ、どのようなことができるのかを考えた内容で、その記事によると、まず、教育関係では、家庭の経済事情で進学を断念せざるを得ない若者の支援につながる「大学授業料の無償化」は、年1兆8千億円で実現。「児童手当の拡充」では、支給対象を現在の中学3年までから高校3年までに延長した上で、親の所得制限を撤廃して1人1万5千円を支払っても年1兆円。「小・中学校の給食無償化」は年4,386億円で実現し、「大学授業料の無償化」「児童手当の拡充」「小・中学校の給食無償化」の三策を組み合わせても3兆円台で賄えるということです。「年金」では、4千万人を超える年金受給権者全員に、月1万円、年12万円を上乗せして支給することが可能であり、「医療」なら自己負担を無料に。さらに、5兆円あれば消費税を10%から8%に引き下げる2%分の財源になり、食料品などの負担が大きい家庭ほど減税の効果は大きいと記されていました。5兆円も使い次第で、国民の生活が豊かになることを考えさせられる記事でした。多額の予算を軍事力の強化に充当するか、子育てや教育あるいは福祉や医療に充当するか、どちらの使途に国の明るい未来が期待できるかは明らかです。

今回の参議院選挙では、多くの政党が公約の中で安全保障政策の位置付けを高くし、防衛力の強化や防衛費の増額を掲げています。もちろん防衛費には、自衛隊の人道救援活動や復興支援活動などに関わる費用も含まれ、自然災害が増えている昨今を考えれば、その十分な予算確保は必要です。こうした不可欠な防衛費へも配慮したうえで、国家予算の適正な配分を慎重に検討し、国民が幸せに暮らす保障を最優先に考える政治が、国難ともいべき事態に遭遇している今こそ必要なのではないでしょうか。そのために、私たちも政党や候補者の政策を冷静に判断し、民意を示す大切な一票を投じる義務と責任を負っているのだと思います。



当センター前に咲くひまわり

隣接施設 友愛ホームのご利用者が、丹精込めて育ててくれました。花言葉は・・・あなたを幸せにします・・・誰もが幸せな社会を願っています。

昔、中学校で衆議院と参議院の違いについて習ったことを思い出しました。両院の違いについては、被選挙権の資格年齢や衆議院に優位性があることも習ったような気がしますが、真っ先に思い浮かべるのは、やはり任期です。衆議院は4年でしかも解散がありますが、参議院は6年の任期が保証されています。だからこそ、参議院には、より長期的な視野で、良識に基づき公平な審議を行う「良識の府」としての役割が求められているのです。そして、憲法には「国会は国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関である」とその地位も定められています。憲法に定められた権威あるこの地位に相応しい政治、言い換えれば、政府の追認機関に退転することなく、政権を冷徹に監視し、「良識の府」という美称に恥じない政治を期待してやみません。

友愛デイサービスセンターにおける看護支援について



看護師 斧 由紀子

私が療育センター（医療型障害児入所施設）に勤めていた15年ほど前、地域のボランティア活動に参加した際に、重症心身障害児（者）を抱えたご家族と交流する機会がありました。

その交流を通じ、ご家族同士が地域で支え合いながら生活している姿に感銘を受け、一方、重症心身障害児が療育センターを退所した後に希望するサービスを十分に利用することができず、ご家族が自宅で介護を続けなければならない現実を目の当たりにしました。

重症心身障害児（者）やそのご家族が地域生活を豊かに営むためには、療育を終えた後にも然るべきサービスを利用するなど、周囲の適切なサポートは欠かせません。

今こそ重症心身障害児（者）に対応した社会資源の拡充が進んでいますが、より高度な医療的ケアを要する重症心身障害児（者）においては、今なお希望するサービスを十分に利用することができず、家庭全体の地域生活が行き詰ってしまうケースも少なくありません。

当センターが医療的ケアへの対応力を強化している理由の一つは、このような「医療的ケアなどの困難なケアを要する利用者だから、必要とするサービスが受けられない」という不条理をなくし、誰もが公平にサービスを受けられる地域社会の実現に貢献したいと考えているからに他なりません。そのためにも、医療的ケアの有無に関わらず、様々な障害を有するご利用者が安全・安心に通所できる看護体制を整備することが重要となっています。

また、当センターでは「医療行為や看護手技を行使することが看護ではなく、利用者の生活そのものを支援することが看護である」という考え方を大切にしています。

ご利用者はケアを受けるために通所されているのではなく、日常生活をより豊かなものとするために通所されています。誰もが暮らしやすい地域社会の実現を常に念頭に置きながらも「ご利用者が居場所を確保し、地域で充実した生活を送れること」を根幹として、支援に取り組んでいきたいと考えています。

そのため、当センターの看護師は「指示書通りの看護手技を提供するだけの支援者にはならない」ことを共通認識としており、ご利用者の食事介助・移乗介助・入浴介助・排泄介助にも積極的に関わっています。実際にご利用者の身体に触れ、様々な表情や反応を細かに観察することで、ご利用者の有する様々な能力やニーズ・生活全体の課題を正確に把握することができ、より精度の高い看護ケアの提供に繋がります。

今後は、家庭訪問等による生活環境の確認や、各種社会資源との綿密な連携を計画しており、在宅を含めた施設内外における包括的な健康管理を実施することで、ご利用者・ご家族の地域生活がより豊かなものとなるよう、質の高い看護支援の提供に努めてまいります。

育児短時間勤務と子育て

私は約2年間の産前産後休暇、育児休暇を取得後、昨年11月に復帰しました。現在は、育児短時間勤務制度を利用し、9時半から16時まで勤務しています。

職場復帰が決まった直後は、「また友愛デイで働くことができる」と楽しみな気持ちと、「経験したことがない家庭と仕事の両立ができるのか」と、新たに始まる生活スタイルに対して大きな不安がありました。育児短時間勤務で復職しましたが、通勤時間が長いことや帰宅してからの家事などで、子どもと関わる時間が少ないことが悩みでした。

子どもと関わる時間を捻出できない原因を考えたところ「復職前と同様に家事をしっかりとこなさなくては」といった思いがあり、家事を優先させてしまっていたこと

に気がきました。

現在は、無理に全てのことをこなそうとするのではなく、必要な家事は家族と協力して行い、子どもが就寝した後にできることは、子供の就寝後に行うように変えたことで、子どもと関わる時間を以前より多く持てるようになりました。

仕事に関しては2年ぶりの職場であったため、業務内容を一部忘れてしまっていることや以前と勝手が変わっていることも多くあり、戸惑うことが沢山ありました。また、短時間勤務のため、時間内で以前の業務量をこなす事が難しくなったことや子どもの体調不良による突発的な休みも多くなったことで、焦りや他職員に対して迷惑をかけているのではないかとといった気持ちもありました。しかし、木村センター長はじめ職員の皆さんが子育てを理解してくださり、何かと気にかけてくださって、とても働きやすい職場環境を作ってくれています。また、



2歳7ヶ月になった娘

新しい業務を任せってもらうことで「今、自分にできることを精一杯頑張ろう」と、モチベーションを上げることができました。

このように働きやすい環境を整えて頂いたことで、子育てと仕事の両立を図ることができ、楽しんで仕事に取り組むことができます。

今後も、時短勤務中は周囲の方に迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、感謝の気持ちを忘れずに、家庭と仕事の両立を続けていきたいと思っています。そして、私と同様に出産や育児を経験する職員が、少しでも不安を解消し勤務を継続できるように、アドバイスできたらと思っています。



生活支援員 武者 愛里



短期入所 協力事業者紹介



副主任サービス管理責任者
荒井 広祐

友愛デイサービスセンターの短期入所事業は、株式会社 HABING の協力を得て、運営しております。

そこで今回は、株式会社 HABING の代表取締役社長である熊谷勇太さんに、お話を伺いました。

Q1. 福祉を志したきっかけを教えてください。

「自分にできる事で人の役に立ちたい」と考えて、福祉を志しました。「福祉の世界を変えたい」などの大きなことは、全く考えていませんでした。私の母親が看護師で、私が中学校の頃から地域でボランティアをやっていました。その時から高齢者や障害者の方とは関わりがあったことも、理由の一つでしょうか。いざやってみたら、ほんとうに楽しくて楽しくて！その思いで今もこの仕事を続けています。

Q2. 熊谷さんの働く原動力は何ですか？

「楽しい！」という想いですね。企業勤めの頃は「あと3日で休みか。待ち遠しいな。」「仕事に行きたくないな。」と思うことがありましたけど、福祉の仕事では一度もないです。

私自身、そもそも人が好きですし、人から頼りにしてもらうことが嬉しいんだと思います。誰かの役に立っている実感もありますし、自分のやっていることが、その人の笑顔や「ありがとう」で返ってくるのって、すごく嬉しいですね。そしてやっぱり、利用者さんと触れ合うのが楽しくて楽しくて！

利用者さんが好きなことは僕の知らない世界ばかりで、そんな二人が交わると、新しい世界が生まれるんです。日常生活もその繰り返しで、一緒にいる時はなんでも楽しいし、嬉しい瞬間の連続です。

Q3. 苦しくなる時はないですか？

期限間近の書類仕事をやらなきゃいけない時だけですね（笑）

Q4. 熊谷さんから見た、友愛デイの強みとは何ですか？

職員さんにも利用者さんに対してもとにかく優しいけれど、その一方で規律もしっかりしているところです。友愛デイの職員さんは、ただ仲が良いだけではなく、良い意味で危機感も持ち合っているように感じますし、管理職の方々もとても頼りになります。

それに何か問題が起これば、チーム一丸となって解決する力がある。なানাあではなく、とても責任のある仕事をされているので、私自身が「もう少ししっかりしなきゃ」と自戒するきっかけにもなっています。そして何より、友愛デイは誰かが困った時には「人として絶対に助けなきゃ」という想いで行動して下さいます。私の一番深い部分で繋がりが合える、パートナーのような存在ですね。



ご利用者とふれ合う熊谷さん

Q5. 株式会社 HABING として、ご利用者支援で大切にしている点は何ですか？

何より、安心・安全が一番です。細かな話ですが、介護人へも「絶対にアクセサリは付けてはいけない」と指導しています。どんな小さな物でも、ご利用者を傷つけてしまう場合がありますから。

また、ご利用者に提供する一つ一つのケアに対して、判断・根拠を持つようにも指導しています。仮に方法を間違えたとして、「なぜ間違ってしまったんですか？」と聞かれた時に「なんとなく間違った」「わかりません」ではダメなんです。判断や根拠があれば間違いが明らかになって、正しく改善することができますから。とにかくご利用者に対して不義理なく、節度ある対応をするよう心掛けています。

Q6. 夢や目標は何ですか？

人は生まれてから、いろんな事を選択していくと思います。でも、障害があるとその選択権が狭まってしまうんです。

「誰といたい」「何を食べたい」「どこに行きたい」「一人で暮らしたい」などの想いがあるのに、選択肢すらない状況がたくさんあるんです。選択する権利があって選ばないと、選択する権利もなく選べないのは違います。そんな状況を無くしたいと思っていますし、その人が「選みたい」と思った時に、選択肢の一つになれる存在でありたいです。また、障害を負ったお子さんが育っていくと、親御さんも「どうしたらいいのか」と悩んでいくことが多いと思います。そうこうしているうちに、親御さんもお子さんが高齢化してしまっ、介護が難しくなっていくんです。そんな時、「あそこに頼れば大丈夫だね。」と思ってもらえるような存在になりたいです。

そして、良いシステムや方法があった時には自分達だけで困るつもりはありません。どんどん広げていって、みんなで幸せになれば良いと思います。一人で手を広げても一人か二人しか守れないけれど、みんなが手をつないで広げれば、何人も守れるじゃないですか。

どんどん良いことを広げて、いろんなことを止めずに、困った時に助け合えるような関係性の事業所を増やしていきたいです。

どっちが儲かるかなんて、どうでもいいんです。会社に100億円あったって、どうせ一杯の牛井でお腹はいっぱいになるんですから。（笑）

Q7. ご利用者・ご家族の皆様へ、最後に一言お願いします。

利用者さんが宿泊される一日を最高の時間にできるよう、精一杯支援していきます。また、いろいろなことをあきらめず、どんなことでもまずは希望してみてください。難しいこともありますが、できる限り対応させていただきます。

友愛デイを「当たり前とされている短期入所施設」と捉えてあきらめしないで、「自分がどうしたいのか・どう在りたいのか」という想いをどんどん伝えてくださると、嬉しいです。

和室タイプ



洋室タイプ



短期入所をご利用できる方

- ・世田谷区にお住まいの方
- ・医療的ケアを必要としない方
- ・65歳未満の方（介護保険の対象ではない方）

お問合せ先

Tel 03-3416-0262
E-mail yuai-short@yuai.or.jp
担当 荒井・青木

♡ 友愛デイギャラリー ♡



座位中も笑顔！

ひなたぼっこに
女子会中！



アニメに歌に好きなものにうっとり中！？



お誕生日の
お祝いです

オフショット集！



こちらは
クラフト活動中！



ハロウィン番外編！



とびっきりの笑顔！



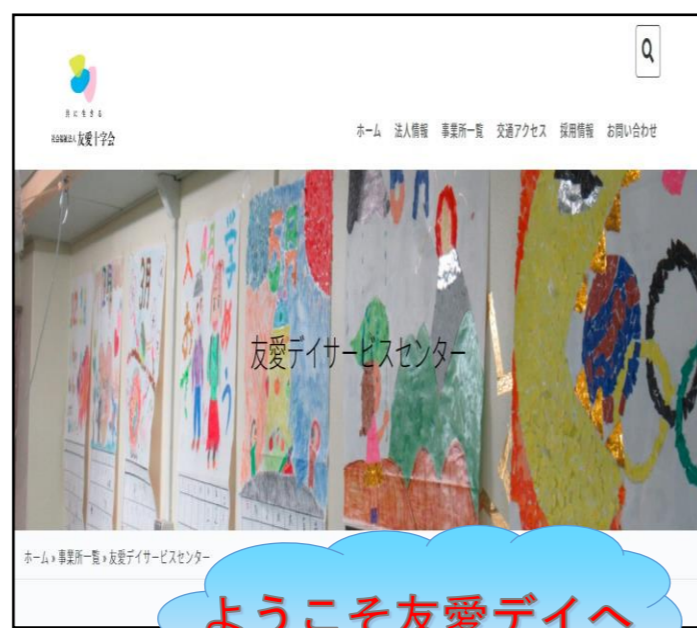
法人ホームページ リニューアル

法人ホームページが、より見やすくシンプルに、全面リニューアルいたしました。

法人の取り組みや当センターの行事写真など、たくさんの情報を発信してまいります。

検索方法

検索エンジンにて「友愛十字会」と検索
 メインページ上部の「事業所一覧」から「友愛デイサービスセンター」をクリックしてください。



健康だより

今年は異例の早さで梅雨が明け、毎日暑い日が続きます。皆様、体調はいかがでしょう。こんなに暑い日が続くと、熱中症が心配になります。ご存じの方も多いと思いますが、改めて熱中症についてお伝えいたします。

熱中症とは

高温多湿な環境に長い時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱が籠った状態を示します。屋外だけでなく室内で何もしていない時でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡するケースもあります。暑熱環境下での体調不良は、全て熱中症と考えなければなりません。熱中症には、症状に応じて重症度が3ランクに分けられます。

重症度

- I度 現場での応急処置で対応できる軽症**
 めまい・失神（軽度たちくらみ）・筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）が起こる。運動直後に起こることが多いとされています。
 意識：正常 体温：正常 皮膚：正常 発汗：あり
- II度 病院への搬送を必要とする中等症**
 頭痛・吐き気・嘔吐・下痢・倦怠感・虚脱感・失神・気分の不快・判断力や集中力の低下、いくつかの症状が重なり合って起こります。
放置あるいは誤った判断を行えば重症化し、III度へ移行する危険性があります。
 意識：正常 体温：～39℃ 皮膚：冷たい 発汗：あり
- III度 入院して集中治療の必要性がある重症**
 意識障害・けいれん・四肢運動障害・言動や行動異常・過呼吸・高体温・ショック症状などが、II度の症状に重なり合って起こります。
 呼びかけや刺激への反応がおかしく、体にガクガクとひきつけがある場合や真直ぐ歩けないまたは走れないなどの症状が現れます。

対応

熱中症が疑われる人を見つけたら

- エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰等、涼しい場所へ避難させる。
- 衣類を緩め、体を冷やす（特に、首周り、脇の下、足の付根など）。
- 水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する。

自力水分摂取が困難・意識がない場合 → **119番**

バナナは熱中症予防に効果的！！

暑い夏におすすめなのがバナナです。バナナにはカリウムが多く含まれていることは誰もが知るところですが、人の細胞内にもまたカリウムは多く含まれています。体内のカリウムが発汗とともに排出され欠乏すると、細胞が脱水状態となり熱中症の際に内蔵の機能不全を起こす可能性があります。また、バナナには消化の速いブドウ糖・果糖、消化の遅いショ糖が含まれており、時間差でエネルギーに変わることから、パワーも持続！！真夏の朝食におすすめです。
※水分・塩分補給もお忘れなく